



東雲便り

令和8年8月27日
江東区立東雲小学校
校長 水柿 隆

東雲小HP



<http://shinonome-sho.koto.ed.jp/>

新たな学び舎で輝く「しののめ」の未来

～夏の成長を新校舎での躍進へ～

校長 水柿 隆

暦の上では秋へと向かっておりますが、連日のように厳しい残暑が続いております。まもなく長かった夏休みが明け、9月から新校舎にこどもたちの元気な笑顔が戻ってくることを、教職員一同、心より嬉しく思っています。

はじめに、この夏休み中、熊本を中心とした大地震や、千葉をはじめとする各地での豪雨など、大きな災害が相次いで発生しました。被災された地域や、関係のあるご家庭に心よりお見舞い申し上げます。学校でも当たり前の日常が送れることへの感謝を忘れず、日頃の避難訓練を中心に防災への意識を高めていきたいと思っております。

さて、7月23日から25日までの2泊3日で、5年生は林間学校へ行ってきました。茨城県の「さしま少年自然の家」に宿泊し、大自然の中、親元を離れて過ごす時間は、まさに環境の変化や困難に立ち向かう「チャレンジ！しののめ」の場となりました。自分たちで考え、仲間と協力して過ごした日々を経て、5年生は一回りたくましくなって帰ってきたことをご報告いたします。この林間学校での体験を自信とし、5年生が高学年としてさらに活躍し、かがやいていくことを信じています。

休み明けは、誰しも少し不安や緊張を感じるものです。心が少し重いなど感じるときは、合言葉の「は・あ・と」を思い出してほしいと思います。

- ❤ は（話を聴く）： 友達や先生の話最後まで目と心で聴く。
- ❤ あ（あいさつ）： 笑顔で「おはよう」と声を交わし、心のスイッチを入れる。
- ❤ と（ともだち）： 多様性を認め合い、お互いのよさを尊重する。

このつながりがあれば、学校は「明日も行きたいと思える安心できる場所」になります。本校はこれからも、お互いを支え合う「温かく支持的な風土」を築いていくよう教職員一同「チームしののめ」として努力してまいります。

いよいよ9月、私たちは待望の新校舎での生活をスタートさせます。最新の設備が整った新しい学び舎で、こどもたちの「無限の可能性」をさらに広げ、一人一人が自分らしくかがやける教育活動を推進してまいります。また、9月は、前期の学習や生活のまとめを行う大切な時期でもあります。目標を立て、あきらめずにやり遂げる「ねばり強いこども」を目指した教育活動もしっかり進めていきます。保護者・地域の皆様、今後も「チームしののめ」として、こどもたちの成長を共に支えていただけますようお願い申し上げます。

それでは、新校舎でも「たのしめ！しののめ！」

